

高齢者の骨折予防・治療と生活支援

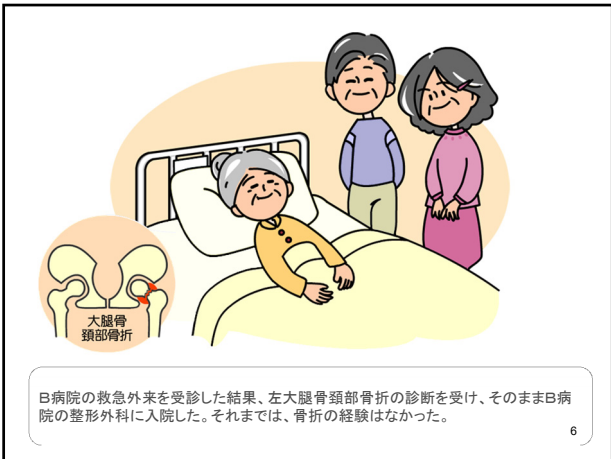
入院のきっかけ、手術、リハビリ

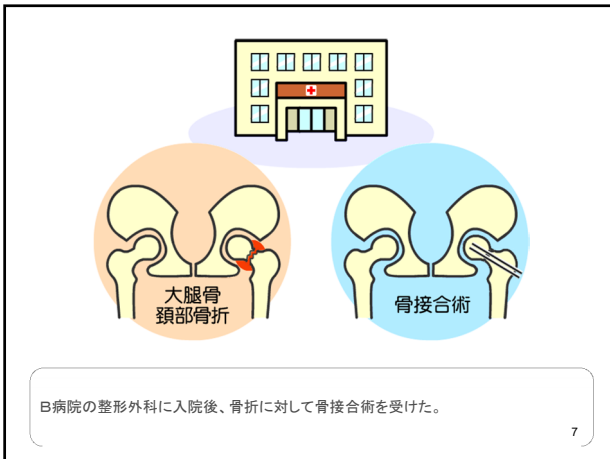


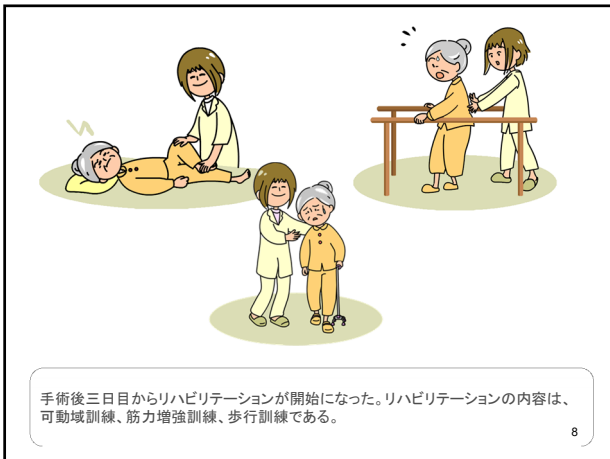
佐渡市に住むAさんは82歳で、身長148cm、体重37kgの小柄な女性である。10年前から心房細動があり、近くの開業医を定期的を受診していた。現在その症状は安定している。













退院の一週間前の様子

10

- ROM 両股関節屈曲/伸展 90° / -5°
- MMT 下肢筋力3レベル、脊柱後湾
- BI 80点 (歩行、入浴で減点)



リハビリの評価のうち、ROMは、両股関節屈曲/伸展、90° / -5°、MMTは、下肢筋力3レベル、脊柱後湾、Barthel Indexは、歩行や入浴などで減点があつて80点である。

11



リハビリの時間以外は、テレビを見て過ごしている。手術後十日目から骨粗鬆症治療薬の服薬が開始になった。また、入院してから、便秘で腹部不快感や腹痛がある。

12

服用中の薬

カマ(0.5)1×A

インデラル(10)3T/3×

バファリン(81)1T/1×M

ベネット(17.5)1T/1×起床時



現在服用中の薬は、カマ、インデラル、バファリン、ベネットで、その処方は、表で示したようになっている。

13



一週間後に退院する予定になっていてAさんは退院後、自宅へ戻りたいと思っている。

14



別居している娘は自分の仕事があり、日中はAさんの介護ができない。そのためAさんの施設入所を希望している。

15



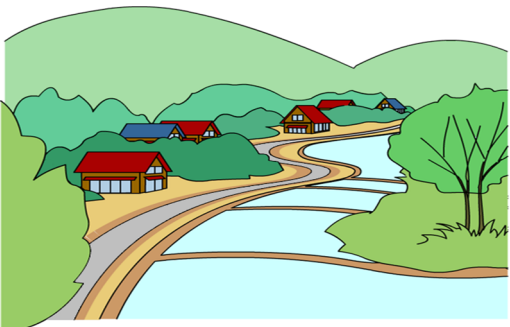
介護保険

夫はAさんに自宅に戻ってきてほしいと考えている。現在、Aさんの介護保険を要介護2のレベルで申請中である。

16

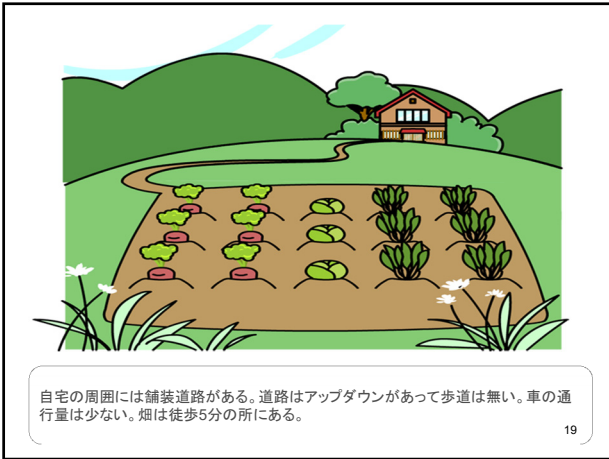
入院前のAさんの暮らしぶり

17



自宅は、山村の過疎地域にあり買い物は困難である。近隣住民との関係性は良好だが高齢者がほとんどの地域である。

18



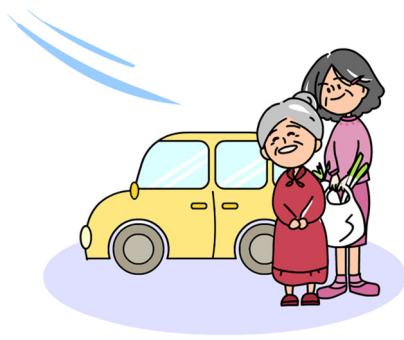






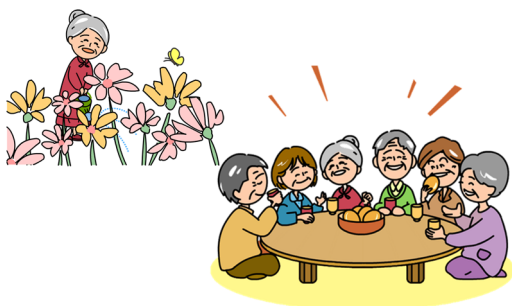
排便は1日1回で排尿の困難は無く、入浴は毎日自宅で行っていた。

22



洗濯・掃除などすべての家事は夫に任せることはなく、全部自分で行っていた。また、買い物は1週間に1回、娘の車で行くことが多かった。

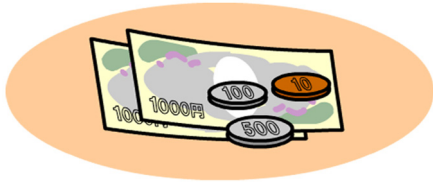
23



趣味は特になく庭の花を育てることが好きである。日中は畑仕事を1、2時間行い、他は近隣住民とお茶を飲んだりテレビを見たりして一日を過ごしていた。

24

老齢年金 年額 2,791,220円
(月額 232,602円)



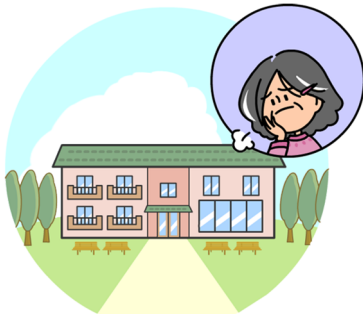
生活費は老齢年金の年額2,791,220円を充てて暮らしていた。

25



開業医は近くにあるが訪問看護ステーション、デイケア・デイサービス施設は車で15分ほどの距離にある。

26



特別養護老人ホームなどの介護保健施設の待機者は80人程おり、今すぐの入所は困難である。

27

QOL向上を目指す専門職間連携教育用教材
高齢者の骨折予防・治療と生活支援

制作著作 Copyright © 2010

「QOL向上を目指す専門職間連携教育用モジュール中心型カリキュラムの共同開発と実践」
(文部科学省 平成21年度 戦略的の大学連携支援事業採択事業)

新潟医療福祉大学・埼玉県立大学・札幌医科大学・首都大学東京・日本社会事業大学

原案 Portions Copyright © 2009

星野恵美子・佐久間真由美・丸山敬子・高橋栄明(新潟医療福祉大学)

28
